

9月1日は「防災の日」 被害を最小限に食い止めるための 日頃の備え

8月11日（火）駿河湾を震源とした静岡県での地震発生
岡山県や兵庫県で多数の死者をだした台風9号の集中豪雨
地震などの災害から身を守り、被害を最小限に食い止めるため
家族や地域で日頃の備えと心構えを確認しましょう



●落下 転倒防止

食器や本などの落下、ガラスの破片、テレビや家具の転倒などが避難を邪魔したり、体に被害を与えたりします。重いものは下に軽いものは上に収納し、特に寝室や子ども部屋は家具を固定するか、なるべく置かない工夫が必要です。

●家の中に安全な場所を

地震が起きたとき、とっさに身を守る場所が家の中にあるか確認しておきましょう。

トイレのように四方が壁に囲まれている所は一般的に安全といわれています。

●消火器は目立つ場所に

火が天井に燃え移る前なら家庭の消火器1本で十分に消し止められます。消火器は火元になりやすい台所を避け、玄関など、家族が普段出入りする目につきやすい場所に置いておきましょう。

●出入口や通路には物を置かない

安全に避難できるように、玄関など出入口までの通路に、家具や倒れやすいものを置かない。またいろいろな物を置くといざという時に出入口をふさいでしまうこともあります。

●ブロック塀の点検

安全性に欠けるブロック塀は地震のときには凶器となつて襲い掛かります。傾きやひび割れがないか定期的に点検することが必要です。

●非常持ち出し品の準備

- ①貴重品（健康保険証など）
- ②医薬品（常備薬など）
- ③照明（懐中電灯と電池）
- ④ラジオ（携帯ラジオと電池）
- ⑤飲料水（ミネラルウォーター）
- ⑥食料品（レトルト食品など）
- ⑦衣料品（タオル、防寒着など）
- ⑧その他（ティッシュなど）

●もし災害が起こったら

◆家にいる場合

- 机やテーブルなどの丈夫な家具の下に身を隠し、わが身の安全を確保する。
- 揺れがおさまったら、すぐに火の始末をする。落ち着いて火元を消し、火災を防止する。
- 戸や窓を開けて出口を確保する。
- あわてて外に飛び出さない
- テレビ・ラジオなどで正確な地震情報を聞く
- 避難するときはブレーカーを切り、ガス漏れに注意する。

災害時の連絡方法

火事・救急

119番

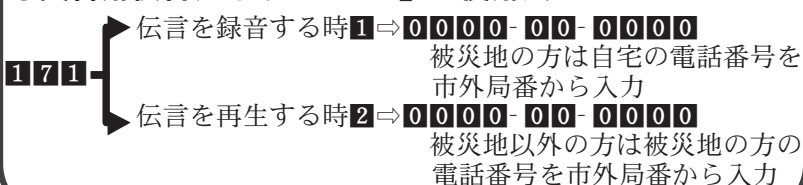
警察

110番

災害用伝言ダイヤル

171番

●災害用伝言ダイヤル「171」の使用方法



◆車に乗っている場合

- 運転中に大きな揺れを感じたら、徐々にスピードを落とし、ハザードランプを点滅させて道路の左側に停車してエンジンを切る。
- カーラジオなどで正確な地震情報を聞く
- 避難する場合は、キーをつけたまま、ドアをロックせず、車検証などの貴重品を持って逃げる。



ここ数年、全国的に地震や大雨による災害が発生し、大きな被害に発展するなど、ここ檜山地方も例外ではありません。

地域の皆さん一人ひとりが、
“自分と家族の命を守る”

平素から地震・台風などによる災害への備えが大切です！

平素の準備と心構え

- 最低限の「非常持出品（貴重品・飲料水・非常食・電灯類）等」を一つにまとめ、直ぐに持ち出せるようにしておく
- テレビ、ラジオ、携帯電話等で常に新しい気象・災害情報を手に入れる
- 家族がバラバラになったときの連絡方法や、避難場所を決めておく 等

「もし災害に遭ったら・・・」と家族で話し合う機会を！！

せたな警察署

☎0137-84-6110